

会 議 名	令和5年度 第4回 匝瑳市地域公共交通活性化協議会
日 時	令和6年1月30日（火） 14:00～15:00
場 所	市民ふれあいセンター 2階会議室
出 席 者	<p>【委員】 （出席：16名） 勝又会長、藤井副会長、鎌形委員、菊間委員、飯島委員、高根澤委員（代理出席：儀部係長）、太田委員、笹本委員、崎山委員、高山委員、熱田委員、橋口委員、高橋委員、伊藤委員、齋藤委員、上田委員</p> <p>（欠席：6名） 加藤委員、平山委員、成田委員、渡辺委員、小松委員、井上委員</p> <p>【事務局】 匝瑳市環境生活課市民協働班 林環境生活課長、小林副主幹、米本主査補</p>
会 議 概 要	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 （1） 補助金を活用した事業評価について （2） デマンド型交通の利用状況について （3） その他 4 閉会
会 議 資 料	資料1 匝瑳市地域公共交通活性化協議会委員名簿 資料2-1 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 （地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業） 資料2-2 事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との 関連について 資料3 匝瑳市デマンド型交通利用者登録状況等報告書

会議結果概要

(1) 補助金を活用した事業評価について

資料 2-1 と資料 2-2 について事務局から説明後、質疑応答

会	長	・ 事務局の説明が終わりました。御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。	
委	員	・ デマンド型交通の南部について、補助対象外となった理由を説明していただきたい。	
事	務	局	・ 運行を開始した 4 月、5 月の利用が少なく、補助金申請時に目標とした計画運行回数が補助金対象の条件である 30%を下回る 29.8%となったためです。
副	会	長	・ 国へ提出する評価の①～⑥の項目について、報告書は今回このままでいいのですが、次回以降は、市内循環バスが 6 路線から 5 路線へ減っているものの、デマンド型交通と市内循環バスを併用していることで、地域の方の外出回数が増えていけば、地域全体の移動を支えている、サポートできているといえるため、それをエリア別にみる。外出回数は担保できている、市内循環バスとデマンド型交通の移動の選択肢ができた、といった根拠を数値化する。評価のアピールポイントでも触れている民間路線バスについて、市内循環バスの再編により競争を無くしたことで、増えたのは民間路線だけではないはず。地域の足の選択肢が増えたことなど、プラスアルファの記載をお願いします。
事	務	局	・ デマンド型交通利用者のもう一步踏み込んだ確認をし、次回の評価の際には、記載します。
副	会	長	・ 更に、匝瑳市はエリア拠点に移動が集中している。南部エリアの野栄総合支所を核に生活拠点としてどのように位置づけられているか、交通の取組でも確認をお願いしたい。
事	務	局	・ 確認します。
副	会	長	・ デマンド型交通は、使い方を追え、確認できる。またタクシー券の利用については、券を使い終わったら、デマンド型交通の利用へと変わる。4 月の利用者と 12 月の利用者は違う。タクシー券とデマンド型交通の移動の拠点性を比較してはどうですか。
事	務	局	・ 次の評価の際には、数字として見える分析をします。
委	員	・ 資料 2-1 について、収支率の設定について伺います。改善するには、利用者が増えたらよいのですか。	
事	務	局	・ 市内循環バスの一部路線で目標利用者を超えています。目標設定時より一般料金の利用ではなく、定期券購入等の割引運賃での利用が多く、目標収支率を下回ったため、今以上に利用者が増えたらよいです。
委	員	・ デマンド型交通の南部エリアが補助対象を下回ったとのことだが、国負担がない場合は、市で負担するのか。	
事	務	局	・ そのとおりです。
委	員	・ ABC 評価について、B とするもの、C とするものの違いは何ですか。	
事	務	局	・ C は、目標値を達成する項目がない場合、B は、3 つの項目の内 1 つ又は、2

	つ達成した場合です。
会 長	・ その他、御意見、御質問はございますか。それでは、御意見、御質問がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。本件につきましては、原案のとおり決することに御異議ありませんか。
委 員 一 同	・ 異議なし。
会 長	・ ありがとうございます。続いて、議事 2 に移ります。

(2) デマンド型交通の利用状況について

資料 3 について事務局から説明後、質疑応答

会 長	・ 事務局の説明が終わりました。それでは、御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。
委 員	・ 地区別登録の割合について、地区別人口に対する割合にしてはどうですか。また、乗合率と乗合人員については、1 運行当たり 1.5 人などの表記に変えてはどうですか。
事 務 局	・ 登録割合については、定点の地区別人口を記載し、割合を記載します。乗合率と乗合人員についても、わかりやすいように表記します。
委 員	・ デマンド型交通チューリップ号とは何なのかを理解してもらうことが肝心です。乗り合わせで、安く行ける。デマンド型交通の目標収支率達成は、乗合率が寄与すると思います。
副 会 長	・ 今のお話のとおり収支率と乗合率は、数値化が必要です。匝瑳市独自の事業である 75 歳以上を対象としたタクシー券配布事業は、デマンド型交通に使えず、より安い一般交通を優先する。デマンド型交通の運賃 500 円は破格で、遠方の方が中央地区までタクシーを使う場合 3,000 円くらいかかるところを 500 円で行ける。タクシー券が無くなった方が、なぜデマンド型交通へ移行しないのか。タクシー券は使い忘れが多く、年度末に利用が集中すると伺っている。その間の移動はどうしていたのか。タクシー券もデマンド型交通もどの地区からどの区間を使っているのか把握する必要がある。併用している方もいるため、タクシー券が無くなる、次はデマンド型交通を利用できる旨の周知を検討してほしい。また、他の自治体では、他人同士の乗合の場合は、割引運賃を適用しています。
事 務 局	・ デマンド型交通の移動形態については、システムから把握できますが、タクシー券の移動形態については、タクシー事業者様の協力が必要です。
会 長	・ タクシー事業者は、是非、協力をお願いします。
会 長	・ その他、御意見、御質問はございますか。それでは、御意見、御質問がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。本件につきましては、原案のとおり決することに御異議ありませんか。
委 員 一 同	・ 異議なし。
会 長	・ ありがとうございます。続いて、議事 3 に移ります。

(3) その他について

会 事 務 局	長	<ul style="list-style-type: none">・ その他、皆様から御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。・ 次回の協議会は、3月の開催を予定しています。協議内容につきましては、令和6年度の予算（案）と令和6年度スケジュール（案）についての御審議と、デマンド型交通の利用状況の報告を予定しております。
委 員	員	<ul style="list-style-type: none">・ ドライバー募集のプレスリリースを行いました。千葉支局のホームページに運転手の声を掲載しています。皆様には、公共交通の利用を引き続きお願いします。
委 員	員	<ul style="list-style-type: none">・ 運転士の働き方として、行政もタクシー、バスの運転手募集をお願いします。県内の自治体では、協議会で合同説明会を実施します。他県の自治体でも実施すると伺っています。
会 委 員	長	<ul style="list-style-type: none">・ 運行事業者に議題2で報告させていただいた市議会でのデマンド型交通の使い勝手についてのご意見のような要望や苦情はありますか。
委 員	員	<ul style="list-style-type: none">・ 特にはありません。8時台の利用はそもそも少ないですし、夕方の時間帯でも特にはないです。お昼については、病院からの帰りで午後1時台の利用は多いです。利用者は、市内循環バスを利用して帰宅するか午後1時まで待って利用するかといった選択をし、利用しています。そのため、デマンド型交通の概要について、利用者には理解いただいていると思います。
委 員	員	<ul style="list-style-type: none">・ 前回の協議会で指摘したスクールバスの小型化についてはどうなっていますか。
会 事 務 局	長	<ul style="list-style-type: none">・ 所管課には、報告させていただいたので、所管課の方針を確認したうえで、再度連絡します。
会 委 員	長	<ul style="list-style-type: none">・ その他、皆様から御意見、御質問等がございましたら、お願いいたします。それでは、御意見、御質問等がないようでしたら、質疑を打ち切らせていただきます。以上で、全ての議事が終了いたしました。お疲れ様でした。